

## あとがき

本稿は金沢区役所前社会教育指導員、福田喜芳氏が勤務のかたわら蒐集した金沢の文学資料を、原典にあたって確かめ、さらに必要と思われる資料を加えて体裁を整えたものである。いざこの企画を進めてみると、資料には異本、異文などが多く、また近世は文字の表記に混乱を生じた時代でもあったので、以外と困難な作業であった。少ない人員と貪しい能力の中で発行時期が大幅に遅れてしまったが、かつて金沢の地を踏み愛着を示した先人達の遺文を、ある程度、区民の皆さまにお届けすることができたものと思われる。結果的には、さすが金沢八景関係の資料が多く、金石碑文並びに文献資料の半分以上を占めてしまった。

なお本稿を決定するにあたり、東京大学教授山中裕氏には漢文体の資料についてご教示をいただき、横浜市嘱託石井光太郎氏、横浜文芸懇話会々長古沢太穂氏には、俳句資料の出典と蒐集でご協力いただき、金沢文庫専門学芸員前田元重氏には、一部資料の解読でお世話になった。ともに記して感謝の意を表する次第である。

また、口絵資料の提供をくださった県立金沢文庫、横浜市図書館、表紙絵の転載を許可してくださった鹿島出版会、たいへんな印刷を引き受けてくださった大成堂印刷にも前記諸氏同様、お礼の言葉を述べる次第である。

福祉部市民課

昭和53年10月